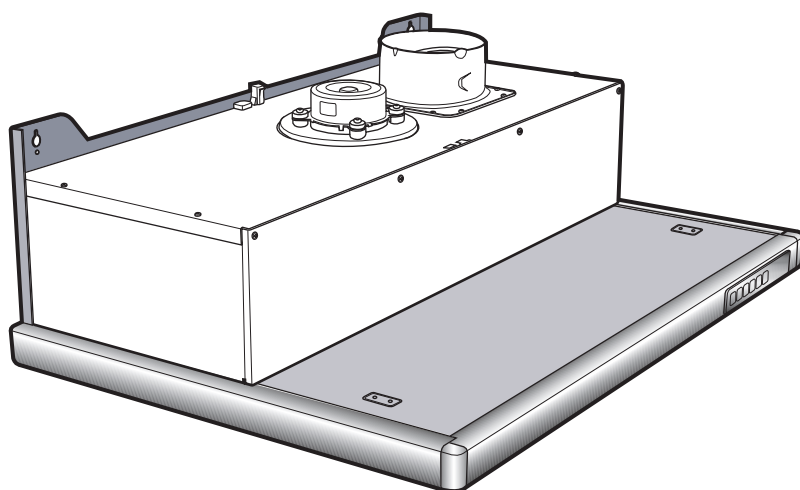
CONFALE

レンジフードファン

# CON-ST-752 / 902

# 取扱説明書

もくじ



このたびは弊社レンジフードをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになった後は、取付説明書とともに大切に保管してください。

# 安全上のご注意 - ①

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を 「警告」「注意」の２つに区別しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

**⚠ 警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。**

**⚠ 注意　人が損害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。**

**絵表示の例**

⃠記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

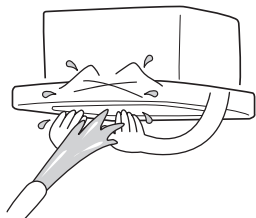
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

## ⚠ 警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しないこと。
発火・感電したり、異常作動してけがをすることがあります。

**分解・修理・改造禁止**

- 電気部品は、水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと。
発火したり感電することがあります。

**水かけ禁止**

- ガス漏れのとき、スイッチを切／入しないこと。
ガス爆発の原因になります。

**操作禁止**

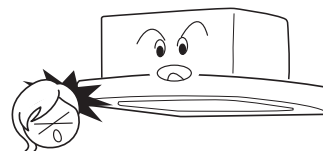
- お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ること。
感電やけがをすることがあります。

**ブレーカーを切る**

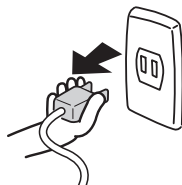
- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと。
火災の原因になります。

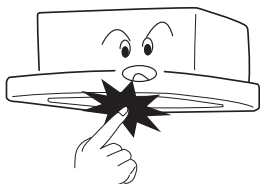
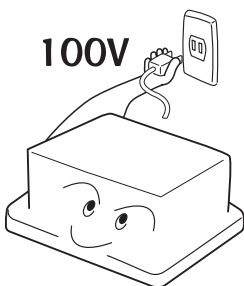
**ほこりをとる**

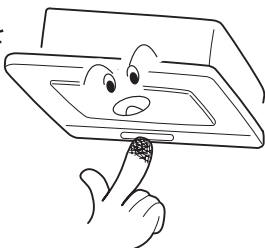
- 前角左右は鋭角（直角）になっています。
頭等ぶつけない様に注意してください。
頭等が切れる場合があります。

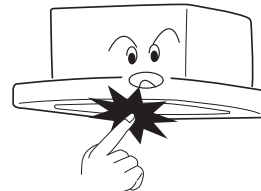
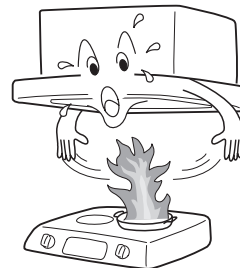
**接触禁止**

# 安全上のご注意 －②

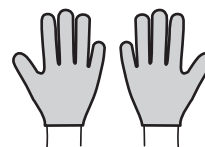
## ⚠ 注意

● 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと。
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。

プラグを持って抜く
● 羽根や部品の取り付けは確実に行うこと。
落下によりけがをすることがあります。

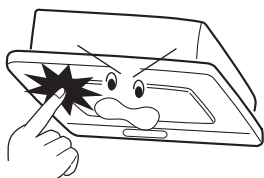
取付注意
● 調理中は、フィルターや周辺の部品に手を触れないこと。フィルターや部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。

接触禁止
● 交流 100 V 以外では使用しないこと。
火災の原因になります。

使用禁止
● ランプカバーおよびその周辺には、手を触れないこと。
高温になるため、やけどをすることがあります。

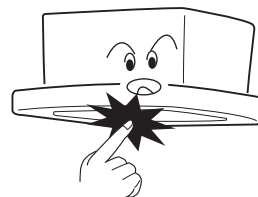
接触禁止

● 長時間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ること。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

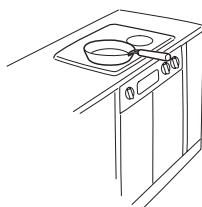
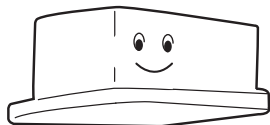
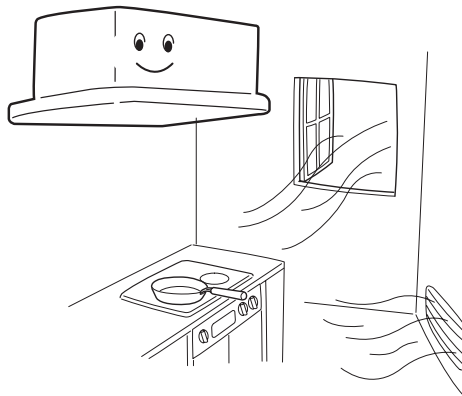
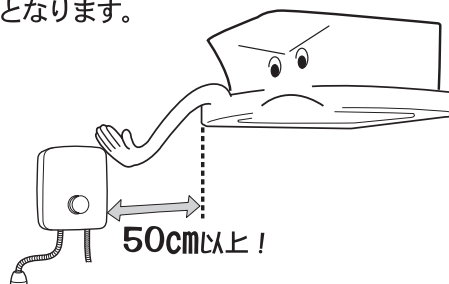
ブレーカーを切る
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと。
けがをすることがあります。

接触禁止
● 調理中、油に火がついたときは運転を止めること。
運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です。

運転停止
● お手入れの際は、厚手の手袋をすること。
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。

手袋をする

# 使用上のお願い

## ⚠ 注意

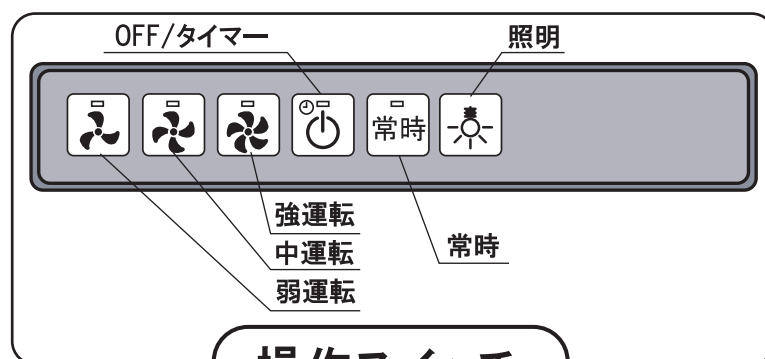
● 運転中は指や物を絶対にいれないこと。
けがをすることがあります。

接触禁止

● 調理中は、フィルターや周辺の部品に手を触れないこと。
フィルターや部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。

● 調理器具を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください。
運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

● 調理中は給気を行ってください。
レンジフードの反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します。

● 調理器具の空焚きは絶対にしないでください。
製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

● 湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください。
ガス湯沸器周辺はかなり高温になるので50cm以上離してください。
湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取り付けないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

● IHクッキングヒーターと合わせて使用する場合には横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります。
また、キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります。
この場合は拭き取って使用してください。

● レンジフードの上には物を置かないでください。異常音の原因となったり、破損や落下の恐れがあります。

# ご使用方法

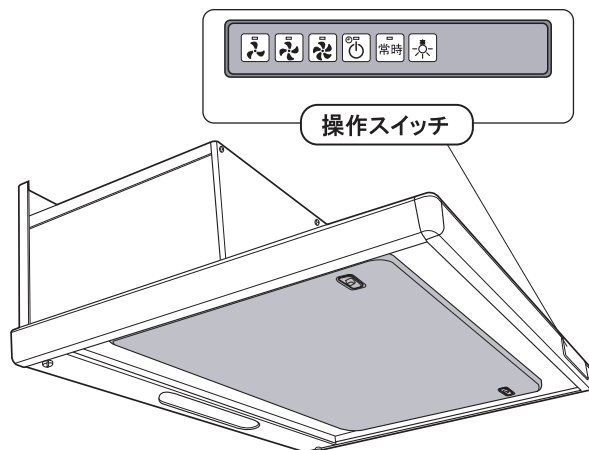
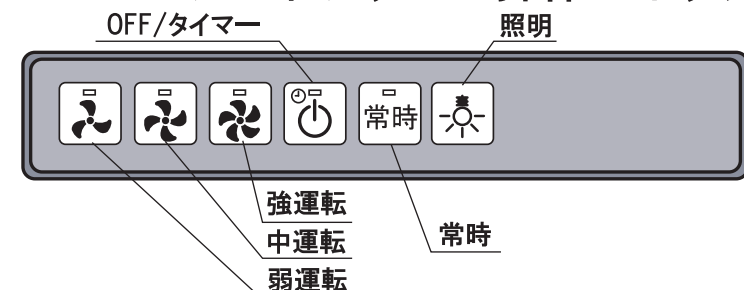
## 各部のなまえ

# ご使用方法

## 操作スイッチ

操作スイッチ

### ■レンジフードファンの操作スイッチ

OFF/タイマー　照明

強運転
中運転
弱運転
常時

**常時**　1回押す　○常時運転を開始します(2回目以降変化なし)。
強・中・弱　運転中に押しても常時運転に入ります。

**弱運転**　1回押す　○弱運転を開始します(2回目以降変化なし)。

**中運転**　1回押す　○中運転を開始します(2回目以降変化なし)。

**強運転**　1回押す　○強運転を開始します(2回目以降変化なし)。

**OFF/タイマー**　1回押す　○常時運転中は即停止します。
○常時運転ご使用からの強・中・弱運転後には遅延タイマーが作動し、
3分後に常時運転に戻ります。
(タイマー作動中にはタイマーランプが点滅します)
○常時運転を使用していない場合、停止状態からの強・中・弱運転後には
遅延タイマーが作動し、3分後に停止します。
(タイマー作動中にはタイマーランプが点滅します)

2回押す　○常時運転ご使用からの強・中・弱運転後には即常時運転に戻ります。
○常時運転を使用していない場合、停止状態からの強・中・弱運転後には
即停止します。

**照明**　1回押す　○照明が点灯します。

2回押す　○照明が消灯します(以後点灯消灯を繰り返します)
照明回路を運転に係わらず独立しています。

※　モーターに過負荷がかかった場合、ピーピーピーの連続音で警告します。
警報を止めるには主電源スイッチをOFFにして下さい。(P12お手入れのしかた参照)。

再度ONにしても警報が発生する場合は、主電源スイッチをOFFにし、アフターサービスの項をご参照いただき、サービスの依頼をして下さい。

# ご使用方法

## レンジフードファンと連動できる専用調理器具との組み合わせでご使用になる場合

専用連動調理器具を点火しますと、自動的にレンジフードファンが「中」運転します。
この状態からレンジフードのスイッチを操作することが出来ます。（切・風量切替・照明）

専用連動調理器具を消火したときに、レンジフードファンは自動的にご使用になっていた運転のままの風量で3分間の遅延タイマー運転になり、3分後に運転を停止します。

但し、照明・常時運転はそのままの状態を継続します。

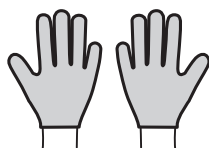
専用連動調理器具には、レンジフードファンの風量切替や照明のON/OFF等の操作を行うことが出来るものもあります。
（詳細につきましては調理器具の取扱説明書をご確認ください。）

# お手入れのしかた

##  注 意

**警告** お手入れの際は、必ず主電源を切ってから行ってください。
ショートや感電の恐れがあります。

● お手入れの際は、厚手の手袋をすること。
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。

 手袋をする 

● フィルターや部品の取り付けは確実に行うこと。
落下によりけがをすることがあります。

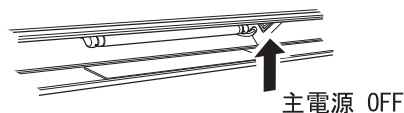
 取付注意 

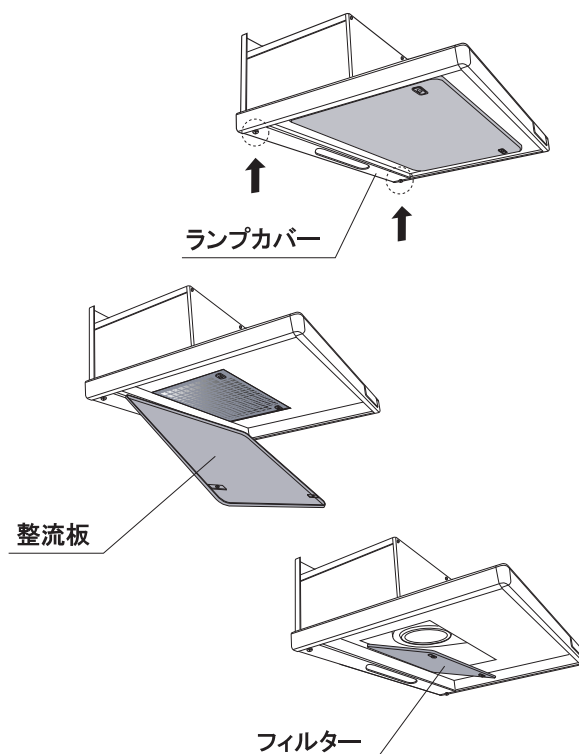
- 調理直後のフィルターは、熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- こまめにお掃除してください。
  特にフィルターは汚れやすいので、１ヶ月に１回程度の頻度でお掃除してください。
  油が付着した状態で長期間ご使用されますと、酸化した油で塗装面が変質して、塗装はく離の原因になります。
  早めにお掃除いただきますと汚れも簡単に落とせ、塗装面の劣化も防ぐことがます。
- シンナー、ベンジン、灯油、みがき粉などは使用しないでください。ツヤがなくなったり、変色や塗装はく離の原因になります。
- アルカリ洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんなどの中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。
- ６０℃以上の熱湯は使用しないでください。プラスチック部品が変形することがあります。
- スイッチなどの電気部品には直接洗剤などをかけないでください。故障の原因になります。
- フィルターは専用のものをご使用ください。一般市販品をご使用になりますと、通気抵抗が大きくなり、吸い込みが悪くなったり音が大きくなり、故障の原因となる恐れがありますので、絶対に使用しないでください。
  又、金属製以外のフィルターをご使用になると、火災の原因となる恐れがありますので、これらの使用は絶対におやめください。
- 健康油をお使いの場合は油の性質上、水っぽいサラサラした油がレンジフード表面や、ファンに付着し、硬化せずに垂れてくることがあります。オイルトレイ、フィルター、レンジフードの下面は油が垂れないよう、こまめにお掃除してください。
  油が付着した状態ですと、フードをつたわって壁面に垂れたり、調理機器に垂れる恐れがあります。

# お手入れのしかた

## フィルター・ファンのはずし方

### 1 ランプカバーをはずし、主電源スイッチをOFFにします

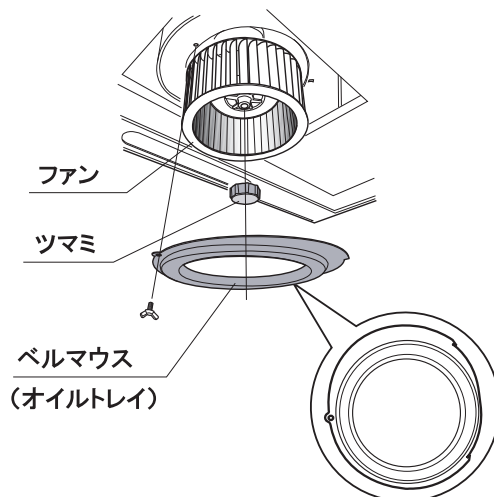
ランプカバーの左右のねじをはずし
ランプカバーを開け、
主電源スイッチをOFFにします。

### 2 フィルターと整流板をはずします

**整流板の手前左右のツマミを内側にスライドさせロックを解除し、整流板をはずします。**
**同様にフィルターの手前左右のツマミを内側にスライドさせロックを解除し、フィルターをはずします。**
**(この時、整流板やフィルターが落ちないように手を添えてください。)**
**※整流板とフィルターの上部に油がたまっている場合がありますので、油を拭き取ってから取りはずしてください。**

### 3 ベルマウス(オイルトレイ)をはずします

ベルマウスの取付ねじ1か所をはずし、
ネジ方向に少しスライドさせ
ベルマウスを取り外します。
※油がたまっている場合がありますので
ベルマウスは水平にはずしてください。

### 4 ファンをはずします

ファンを押さえ、つまみを時計回しの方向に回し、
はずしたあと、ファンを取り出します。

**ご注意**

- ファンをぶつけたり、落としたりして変形させないでください。異常な音や振動の原因となります。
- つまみをはずすとファンが落下しますので必ず、ファンを押さえながらつまみをはずしてください。

# お手入れのしかた

## フィルター・ファンの取り付け方

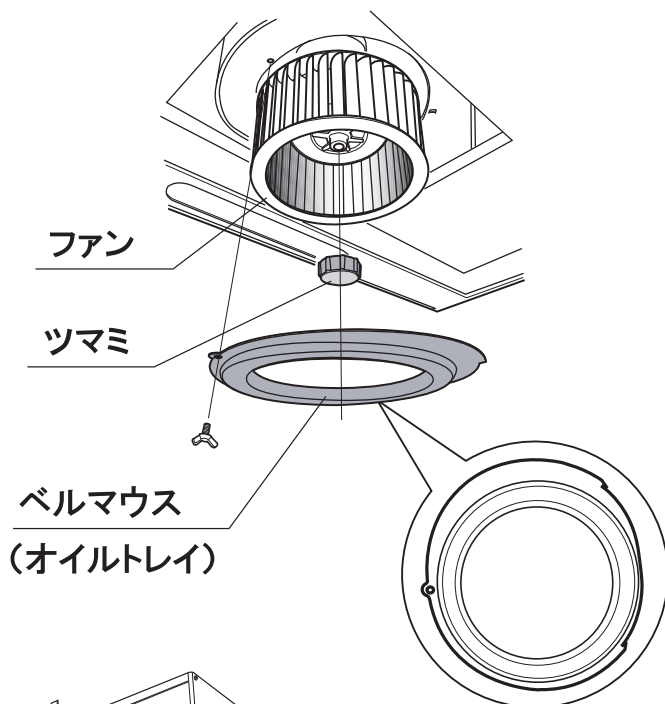
**1**

### ファンを取り付けます

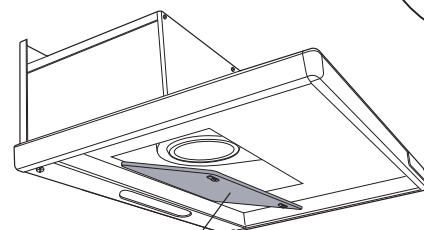
① ファンを根本まで差し込んで下さい。

② ツマミを「反時計回り」の方向に回して締め付けて下さい。

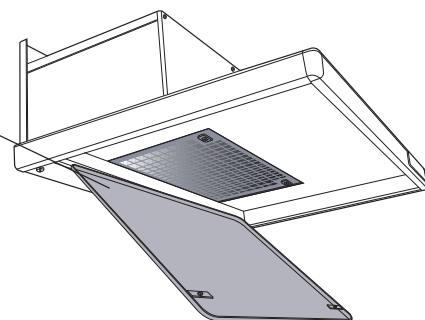
ご注意

●ファンは確実に奥まで差し込んでください。

**2**

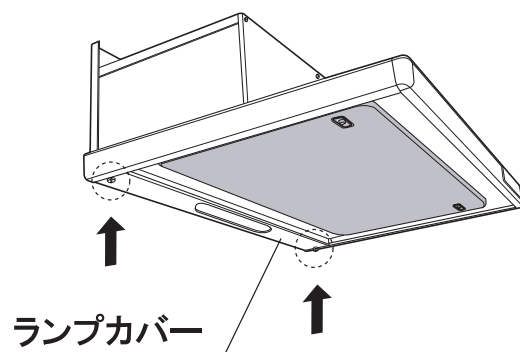
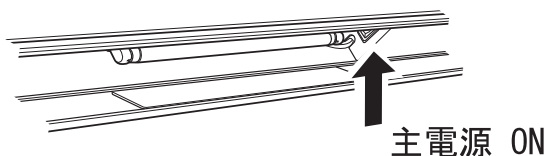
### ベルマウス(オイルトレイ)を付けます

ベルマウスをはめ込み、取付ねじ1か所を締付けて下さい。
ベルマウスを取りつけてから、ファンを手で回してこすれ音などがないことを確認してください。

**3**

### フィルターと整流板を取り付けます

**フィルターの奥側からはめ込み、手前の左右のツマミをそれぞれ外側にスライドさせ、ロックします。
整流板を奥のフックに取り付け、閉じて左右のツマミをそれぞれ外側にスライドさせロックします。**

**4**

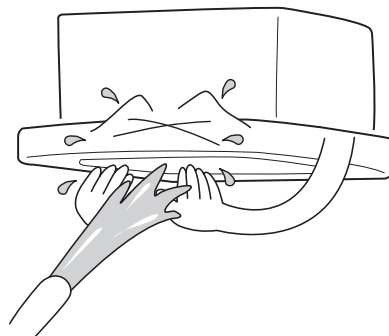
### 主電源スイッチをONにしランプカバーを取り付けます

主電源スイッチをONにして
ランプカバーをセットし、左右
2本のネジで締め付けてください。

# お手入れのしかた

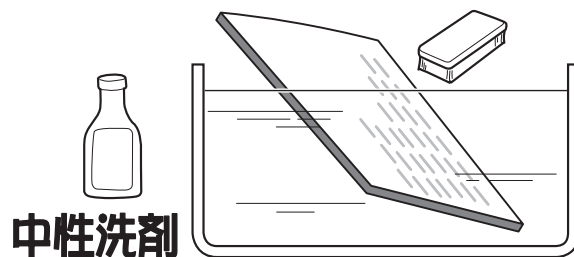
## フィルター・ベルマウス・整流板・本体・ファンの洗いかた

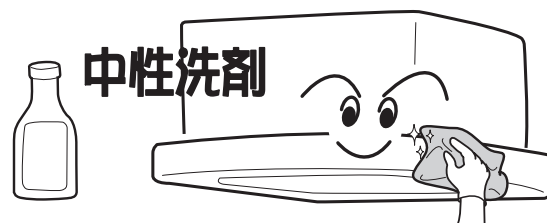
### ⚠ 警告

● 電気部品は、水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと。
発火したり感電することがあります。

水かけ禁止

あまり汚れないうちに掃除してください。期間が長くなると、油が固まって汚れが落ちにくくなります。
特にフィルター・オイルパックは月に１回程度お掃除してください。

### ■フィルター・ベルマウス・整流板

１か月に１回程度、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち金属以外のタワシなどで洗ってください。
汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし水気をとってから取り付けてください。

### ■ 本体

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、清水で湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。

### ■ ファン

ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。
汚れを落とした後、洗剤が残らないよう、水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

# お手入れのしかた

## ランプ交換のしかた

**蛍光管**

蛍光管は
FL8W
をご使用ください

### 1 ランプカバーを開けます

ランプカバーの左右のねじをはずし
ランプカバーを奥側に90度開きます。

ランプカバーが脱落・落下しないよう
必ず手を添えて行ってください。

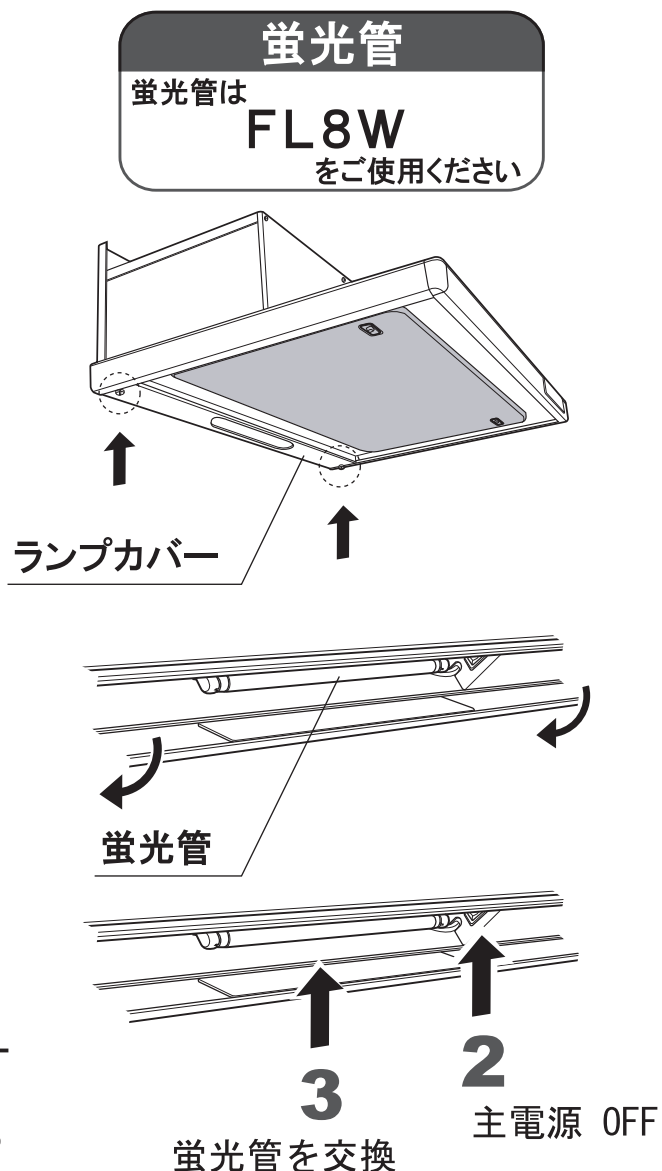
### 2 主電源をOFFにします

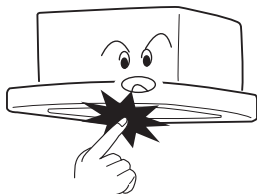
主電源スイッチをOFFにします。

### 3 蛍光管を交換します

蛍光管をはずし、新しい物と交換します。

### 4 主電源をONにし、元の状態に戻します

電球の交換が終わったら上記の手順と逆に
主電源のスイッチをONにし、ランプカバーを閉め
左右のネジを締め付けて下さい。

## ⚠ 注意

● 電球が切れた直後は周辺が高温になっている
ため、やけどをすることがあります。
温度が下がってから交換して下さい。

## ⚠ 警告

● ランプの交換は、本体のスイッチを
「切」にし、分電盤のブレーカーを
切って下さい。

● ランプは上記に示すランプを
お求め下さい。間違った種類・
ワット数のランプを使用すると
火災の原因となります。

# 故障かなと思ったら

**修理を依頼されるまえに** 次の点をもう１度お調べください。

| 症　状 | 点検するところ |
|---|---|
| 運転しない | ●ブレーカーが切れていませんか。<br>●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。<br>●主電源スイッチがOFFになっていませんか。 |
| 振動・騒音が大きくなった | ●フィルターの汚れが多くなっていませんか。<br>●空気の取り入れは十分ですか。（お部屋全体）<br>●ファン固定用ツマミが緩んでいませんか。<br>●ファンは確実に奥まで入っていますか。 |

# MEMO

# アフターサービス（必ずお読み下さい）

## 補修用性能部品の最低保有期間

● 当社は、この換気扇の補修用性能部品を**製造打切り後6年間保有**しています。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です）

## ご不明な点や修理に関するご相談は

●修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

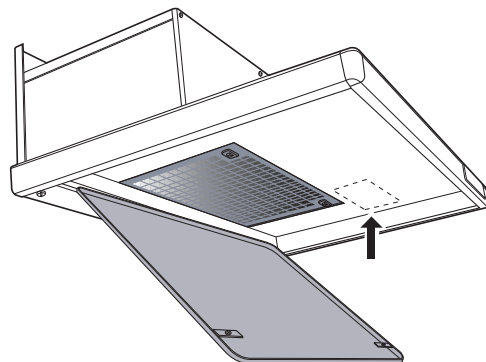
● 製品の保証期間は、お買い上げ後の**正常のご使用状態において1年間**です。

## 修理を依頼されるときは

13ページに従ってお調べいただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ずブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

| ご連絡していただきたい内容 | |
|---|---|
| 品　名 | レンジフードファン |
| 型　名 | |
| お買い上げ日 | 年　　月　　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご住所 | 付近の目印なども併せてお知らせください。 |
| お名前 | |
| 電話番号 | |
| 訪問ご希望日 | |

レンジフードの型名は、本体左内側に表示してあります。

★長年ご使用の換気扇の点検を

**愛情点検**

ご使用の際、このような症状はありませんか？

●スイッチを入れても、動かないときがある。
●運転中に異常な音や振動がある。
●焦げ臭いにおいがする。
●その他、異常・故障がある。

**ご使用中止**

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

# 本製品の設計標準使用期間について

本製品は、設計標準使用期間を７年と算定しており、適切な点検をすることなくこの期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがございます。

＊設計標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の表!を参照）の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なくお使いいただくことができる標準的な使用期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです。（消安法第３２条の３）

＊この設計標準期間とメーカーの無償保障期間とは異なるものですのでご注意下さい。

## 設計標準使用期間の算出と根拠

本製品の設計標準使用期間は、製造年を始めとし、以下の使用条件を想定して、モーター・各部品等の対応年数に基づいて算出した結果、経年劣化により安全上支障の生じるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終わりとして設計標準使用期間を設定しております。

| 使用条件 | | |
|---|---|---|
| 環境条件 | 電圧 | １００Ｖ |
| | 周波数 | ５０／６０Ｈｚ |
| | 温度 | ２０℃ |
| | 湿度 | 相対湿度６０％ |
| 設置条件 | 標準設置（取付説明書による） | |
| 負荷条件 | 定格負荷 | |
| 想定時間 | ８,７６０時間／年 | |

＊社団法人 日本電機工業会の　「各製品別　設計標準使用期間の標準的な使用条件（概要）」の「換気扇」から引用

## ＊ご注意

本製品を目的外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の 標準使用条件と異なる環境で使用された場合に設計標準使用期間の到達前に経年劣化による安全上支障を生じるおそれが高まることが予想されますので、このようなご使用は、お控えいただくようお願いいたします。本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境、条件などでお使い頂いた場合においても、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれがありますのでご注意下さい。